

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 679 号	氏名	山田 成美
学位審査委員	主査	小澤 寛樹	
	副査	篠原 一之	
	副査	佐々木 均	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は初代培養ラット脳毛細血管内皮細胞を用いた血液脳関門 (Blood-Brain Barrier, BBB) <i>in vitro</i> モデルを作製し、肝細胞増殖因子 (Hepatocyte growth factor, HGF) が BBB に与える影響と同時に、末梢由来の内皮細胞として、ヒト臍胎静脈内皮細胞とヒト皮膚毛細血管内皮細胞を用いて同様の検討を行い、中枢と末梢由来の内皮細胞の HGF に対する反応性を比較したもので、目的は十分妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ラットより脳毛細血管内皮細胞を分離培養、また 2 種類の末梢由来の内皮細胞の単層培養モデルを作製し、HGF を添加し、内皮細胞の透過性、細胞接着タンパクおよび細胞骨格タンパクへの影響を検討した研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 HGF は BBB 強化に作用している、一方、末梢由来の内皮細胞では脳内皮細胞とは反対に BBB 機能低下を引き起こしていること、よって HGF が BBB を強化することで中枢神経に保護的に作用することを明らかにし、今後の中枢神経疾患の臨床研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は中枢神経疾患研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			